

教育課程部会報告

1 教育課程部会

品川区の小中一貫教育の拠り所である「品川区小中一貫教育要領」について、副教科書、副教材を含め、成果を検証するとともに、次期学習指導要領を踏まえた改訂等について協議していく。

○今後の予定（案）

時 期	取 組
平成27年 ～12月	部会の主旨説明、小中一貫教育要領成果検証方法の検討 カリキュラム検討部会の立ち上げ
平成28年2月 ～7月	カリキュラム検討部会にて 各教科カリキュラムの成果検証開始（次年度につなげる） カリキュラムの検証まとめ
8月～	次期品川区教育要領（仮称）の改訂作業

2 教育課題（6分科会）の進捗状況

(1) 英語部会（英語教育推進会議）

国や東京都の動向を踏まえつつ、品川区の9年間の英語教育の充実について検討を行っている。

○小学校

- ・平成29年度の全区展開に向け、新カリキュラム実施校を拡大。
実施校拡大のためJTE（小学校英語専科指導員）の追加募集を行う。

○中学校

- ・イングリッシュキャンプ（今年度新規）
グローバル人材育成塾生から80名を募集し、夏季休業中に福島県にある”British Hills”で2泊3日の英語合宿を実施した。
- ・オンライン英会話（今年度新規）
大崎中・浜川中にて、タブレットPCを活用し、9月より月2回、フィリピンにいる講師と1回25分の英語の個別レッスンを行っている。

(2) 市民科部会（市民科推進会議）

10年間の市民科の成果と課題を踏まえ、道徳の教科化等、喫緊の課題を見据えつつ、今後の市民科の在り方等について検討していく。

- 全国学力・学習状況調査やベネッセ総合学力調査の意識調査をもとに10年間の市民科実践における成果と課題の検証
- 「特別の教科 道徳」で新しく整理された内容項目と市民科学習単元との関連性についての検討等
- 品川区小中一貫教育要領の改訂に向けて、平成28年度よりカリキュラムの検証作業に入る。

(3) 体力向上検討委員会

「運動の日常化部会」「授業改善部会」「生活習慣改善部会」の3つ部会を立ち上げ、本区の児童・生徒の体力向上を図る。

○運動の日常化 「品川スポーツトライアル」

「品川区の子どもたちの体力向上のために」「運動が好きになり、主体的に取り組めるように」「誰もがチャレンジできる運動を」をスローガンに、いつでも、どこでも、手軽にできる11種目の運動を共通種目として設定し、10月から全校で取り組んでいる。

○授業力向上「テクニカルアドバイザー」

外部講師（中学校または高等学校保健体育科免許保有）による習熟度別指導や少人数指導等で専門的指導を行う。（小学校5校、中学校6校配置。次年度拡大予定。）

○生活習慣の改善「ワンミニッツエクササイズ」

リーフレットを作成し、家庭でも短時間で簡単に行えるストレッチ系、パワー系の運動をまとめ、実践する。

(4) 特別支援教育（小中一貫特別支援教育体制推進協議会）

発達障害の児童等に対応する支援教室の在り方、合理的配慮、今後の特別支援教育の充実について検討している。

○特別支援教室

平成28年度の小学校における特別支援教室全校実施に備え、現在の通級指導担当教諭による近隣校への訪問指導を4校でモデル実施している。その成果を踏まえ、次年度より8校の拠点校より、近隣校へ教員が出向いて個別の指導や小集団での指導を展開する。

○巡回相談員

今年度より、区立学校に2週間に1回程度の間隔で巡回している。一人の巡回相談員が小・中5～6校を担当し、いじめや不登校、問題行動などの実態把握をはじめ、学習・生活面や友達関係、家庭環境などに見られる諸課題に対して配慮を要する児童・生徒への学校や都費スクールカウンセラーの対応について確認するとともに必要な指示・助言を行っている。さらに教育総合支援センターの教育相談室や学校支援チーム、指導主事によるケース会を定期的に行い、情報共有と役割分担をすることで、特別支援教育・具体的な配慮の充実を図っている。

(5) 特別支援教育（ICT）

教育会（特別支援教育）を中心に、学習支援・自立支援を行うアプリケーションの導入を含めたタブレットPC（iPad）の効果的な活用方法を検討している。

○タブレットPC（iPad）の活用

学習意欲の向上や進化する情報社会への適応力（情報リテラシー）の定着、協働学習や自学自習等の充実、児童・生徒の個々の状況に応じた学習活動の充実を図ることを目的にタブレットPCが導入された。各特別支援学級（固定級9校・通級8校）に配置されたタブレットPCは計285台で、児童・生徒2人に1台の割合である。

実際に活用している教員からは、「アプリケーションには動きや音が入っており、集中の持続が難しい発達障害の児童にとって、意欲を保ちながら学習するために大変有効である」、「ゲーム的な要素によって楽しみながら苦手を克服することができる」、「取り組む度にレベルが上がったり、結果が数値化されたりするなど、自己の努力が視覚化されることで継続して学習しようとする意欲につながる」との好意的な意見が寄せられている。

(6) 学力向上（ICT）

ICTを活用した教育活動推進校を中心に、授業内におけるタブレットPC・書画カメラの効果的な活用方法の検討（タブレット運用検討部会）、タブレットPC内臓のドリル等のコンテンツについて、実用に当たり改善案を検討（コンテンツ検討部会）している。

○タブレット運用検討部会

- ・中学校のコンテンツが今夏インストール完了し、持ち帰りの準備ができた。
- ・宿題機能の改善（日付指定ができるようになった。）
- ・品川区教育フォーラムの発表に向けての準備として、この1年間の実践事例の整理を行っている。

○コンテンツ検討部会

- ・中学校向けコンテンツの内容確認。
- ・小学校向け発展ドリルの内容確認。
- ・今後の追加コンテンツの検討。